

為替の大幅な変動

10月31日の日銀の金融緩和によって起こされた円安には大変苦悩しています。と言うのは1ドル100円から105円近辺で現在の日本国内の木材価格が推移してくれる前提で材木業界は対処しようと思っていました。

理由は4月からの消費税アップ前にかかなりの駆け込み需要がありました。そしてその為に反動減も覚悟しないといけないと思っていた経営者が殆どだったと思います。小生も同様の考えでした。

そして4月以降急激な落ち込みがあり、消費税の転嫁は出来たけれど、肝心の売り上げが駆け込み需要の売り上げアップを超える落ち込みになりました。と言う事は所謂受給バランスはマイナスだと感じていたのです。

しかしアメリカ国内の景気は予想以上のペースで拡大しているとのマスコミ報道がありその証拠としてアメリカの株式市場が活況を呈しているのは皆様もご存じだと思います。又小生のアメリカの仕入れ先からも、アメリカ国内で起こっているシェールオイル関係の好景気に伴いアメリカ国内の木材のドメステック価格が輸出価格を大幅に超える商品もあり、日本向けに輸出するのは凄く大変です。と言う話も聞いています。

アメリカ国内が凄くタイトな状況、ロシア材の先行きも値上がり必至等々値段の下がる見込みのない状況の大幅な為替変動、15円~20円の円安は大幅にお客様に20%位の値上げ要請を来年1月早々をお願いしなければならないと思います。

12月入荷分等で値上げをお願いしたい商品はありますが、来年1月まで値段を据え置きの商品もあります。別紙に購入用紙を用意していますので、例えば3か月分先に購入したいと思う方が有れば12月は特別に便宜を図りますので、担当者までご連絡下さい。

ただし、ただ見積もりを取るだけでしたらお返事をしない場合もありますので、宜しくお願いします。

今年の正月に小生の信頼できる方から年末にはかなりの円安になるとは聞いていましたが、しかしこれだけの大幅な円安が我々の足元に影響するとは思いませんでしたが、円高になる要素は短時間ではないと現在考えています。

今月のベストショット



70センチオーバーのヒラメ



顔をのぞくアナゴ

第380回北海道産銘木市売

11月14日に北海道旭川にて開催された広葉樹銘木市は凄く判断の難しい市だったと思います。小生は28歳から北海道に原木の仕入れに一人で出かけていますが、今回ほど相場観を把握するのに難しい市は過去になかったと思います。

今シーズンの広葉樹の一番揃う時期は、過去の経験から言えば1月～3月が繁盛期になると思いますが、その時期に買い付けをするのですが、その時に上手く買い付けする為には前段階での準備が必要です。

輸入商社の今期の買い付け量の情報・単価の情報・同業ライバルの情報、自分の在庫量、売れ筋商品の情報色んな情報を元に相場観を頭に叩き込むのですが、今期はそれ以外の事の方が気になります。

- 1、現在北海道は大手2社がロシア材を多く扱っていますが、そのうち1社が今後ロシア材を扱わない情報が有ります。
- 2、急激な為替変動で先々木材価格が大幅に値上がる可能性が非常に高い。
- 3、突板業界の動向『タモの代用は無い。ナラの代用はオークで』。と言う事ですが、ナラ材の出品数量が全くない。
- 4、ロシア材は今期タモ10本にナラ1本の割合しか入ってこない情報が有る。
- 5、人手不足の建築業界で手の掛る無垢材を現場で使用できるのか不安感が有る。
- 6、今の木材価格から単純に為替変動だけで、20%の値上げになると想像出来ませんが今後も売れるか非常に不安です。
- 7、突板はナラの代用にオークは使えますが、無垢材の場合、ナラとオークは全く使い方が違います。ナラ材の集荷の懸念が有ります。
- 8、国内産広葉樹『カツラ・マカバ・セン・ホオ』に関しては量的に非常に少ない。

今年ほど相場感の難しい年は無い予感と申しましょか予想が有ります。しかし木が好きの小生にとってリスクを如何に抑えるのか、それとも、もう企業努力は全く不可能なのか、行動しなければ解りません。

仕入が凄く困難になっているのは関係者全員一緒です。誰か一人だけ特別な事は絶対有りません。小生の個人的判断ですが、本年に限り多少先々損が発生する可能性は昨年比倍以上の確立かもしれないが、何もせず、後ろ向きに死ぬのなら前向きに死ぬ方がよかろうと考え、迷える自分の心に言い聞かしています。

林 経 新 聞

2014年(平成26年)11月24日(月曜日)

(第三種郵便物認可)

供給不足で相場に過熱感

旭川林産協同組合 11月広葉樹市、強含みに終始

主な樹種の平均単価(円/m)		
タモ	カバ	66,308
マカバ	パン	48,275
セナ	ラ	80,990
ナニレ	レ	56,362
キハ	ダ	13,218
ホハ	ダ	27,554
ホツ	ホラ	32,692
カツ	ツカバ	40,756
イタ	タヤ	35,122
メジロ	カバ	36,053
		50,708

多額買い上げベスト10社(円)	
北日本木材(株)	6,779,659
昭和木材(株)	5,729,181
アイエムトレーディング(株)	4,302,187
物林(株)	4,171,013
平野木材(株)	4,046,862
三津橋産業(株)	3,128,720
王子木材緑化(株)	3,021,601
(株)服部商店	2,702,779
天幸木材(株)	2,219,625
(株)高橋木工所	2,184,591

旭川林産協同組合(高橋秀樹理事長)の11月道産広葉樹銘木市(通算第380回)は14日、官・民材合わせ1083立方尺(単極のみ)の出品量で即売された。今回は、オール秋山材での即売。流通・消費品薄高の気配を露呈した。主力樹種のナラ、タモのほかメジロカバは、冬山新材のシーズン入りを前に広葉樹の原木市場では、供給不足による相場の過熱感が伝わってくる。国産材の品薄で輸入材による補充もロシア、中国材、ア、中国材はじめ米国広葉樹は日本と同様かそれ以上の厳しい採伐

旭川林産協同組合費市場での原木不足を反映して、地元製の工場はじめ本州の流通・ツキ板業者らが積極的な在庫補充手当てをみせ、落札価格は強含みに終始した。

冬山新材のシーズン入りを前に広葉樹の原木市場では、供給不足による相場の過熱感が伝わってくる。国産材の品薄で輸入材による補充もロシア、中国材、ア、中国材はじめ米国広葉樹は日本と同様かそれ以上の厳しい採伐

輸入材減少、良材確保が困難に

制限により、安定確保が困難な状態に陥っている。特に広葉樹は品質が決め手となり、道産広葉樹も低質化が進んでいるだけに、良材確保は一段と難しくな

次回即売は12月19日午前8時10分から、道産広葉樹を中心に約2000立方尺(うち官材は600立方尺)が出品される予定

第8回服部商店展示即売会

小生は今期社長を亡き父親から拝命して20年になります。服部商店も法人改組して50年になるので、何か記念の行事を開催出来ないかと考えて開催したのが今回の展示即売会です。

今まで7回開催してきた展示即売会は勉強会と同時に行ってきましたが、今回は展示即売会単独の開催にしました。

日頃お世話になってきたお得意先の皆様に服部商店の扱っている神様の贈り物の無垢材を1枚、1枚手に取って見て頂き物作りに貢献したいと考えたからです。

服部商店の扱っている樹種全てを展示しました。並べて明細も添付しました。誰でも購入しやすいようにしました。

何時もは勉強会『原木の製材を見て頂く企画』と併設して開催してきましたが、今回の初めて展示即売会を土曜日・日曜日の2日間開催にしました。お得意先で日頃、日曜日しか店を離れられない方もいらっしやると聞いたからです。

ちなみに2日間にお買い上げ頂いた方は、大阪府・兵庫県・和歌山県・奈良県・福井県・滋賀県・京都府の6都道府県の方々です。

又遠方の方に前売り販売もしました。愛知県・神奈川県・長野県等々合わせると15都道府県の方に購入して頂きました。



初日の8時過ぎの展示会の記念写真です。

今回の目玉商品は超薄状態のブラックウォールナットにしたのですが、一番販売金額の多いのはナラ材でした。全体の70%でした。残りの30%はこちらがお得感の有る商品を展示したのですが、いまいち反応が悪かったです。

次回は来年2月に勉強会『ホワイトオークの原木の製材を予定しています。』と即売会と合わせて開催したいと思っています。そこで皆様にお聞きしたいと思います。

次回の企画は土曜日午前中が勉強会、午後から展示即売会、翌日の日曜日が展示即売会と言う予定で行いたいと思っています。展示即売会は場所の問題が有りスペースはかなり小さくなります。

又展示即売会と言うよりは原木の展示会みたいな企画になるかも知れません。別にアンケートを用意していますのでお返事をお願いします。

記念ダイブ

2014年10月26日に和歌山県南部市に大好きなスキューバダイビングに出かけました。



何年か前にインドネシア・バリ島にて日本人のダイビングツアーで2人が流されて死亡したとマスコミで報道された事を知っている方はいらっしゃると思いますが、今回の記念ダイブは危機一髪でした。

10月26日は1本目が記念ダイブの250本。2本目が危機一髪の251本目でした。危険なダイブを経験したポイント名は『みなべだし』、ダイビング時間は午後1時35分、潜水予定時間は約40分でした。トラブルはこうして起こりました。

小生の横で映っているのが何時もお世話になっているインストラクターの木下氏。250本の内180本はお世話になっている信頼出来るインストラクターです。

危機一髪とは、みなべだし『船にて大よそ20分沖に有るポイントです。』にて、船が我々を乗せず勝手に港に帰ってしまったのです。船に上がる時刻は2時10分から遅くて2時20分です。大体2時20分を経過して、我々二人は船に上がる為に5分間の安全停止を水面下5メートルの所でしていましたが、突然船のエンジンが回り轟音がしたのです。この時点では我々の船の音だとは思いませんでした。そして水面上がると船は勝手に港に帰ってしまっているのです。この後約20分インストラクターの指示どおり行動して無事楽しいこの日のダイビングを終えましたが、帰宅して正直ぞっと感が小生を襲ってきました。

船の関係者のミスを下記に書きます。

- 1、人数を数える点呼を全くしなかった。
- 2、乗り合いの他のチームのインストラクターがいたが、全く気づかなかった。

船のミスが有っても助かった要因

- 1、バディシステムを確実に守っていた。
- 2、天候の良い日だった。海面下も含めダイビング日よりだった。
- 3、偶然か解りませんが近くに他のショップの船がいた。

事故と言うのは、何時起こるか解りません。多くのミスが重なれば大事故になります。しかしそれ以上にルールを厳守していれば危険な事に遭遇しても防げるのです

小生は世話になっているインストラクターにお願いしています。次回以降も南部市にダイビングにはいきますが、二度とこのショップを利用しないでくださいと。

FAX 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7



アンケートをお願いします

1、2月14日と2月15日に第14回勉強会を開催しようと思っています。興味が有る。

はい

いいえ

2、展示会に原木の販売をしたいと思っていますが、その時是非購入したいと思いますか。

はい

いいえ

会社名	
担当者名	
〒と連絡先ご住所	
お電話番号	
FAX 又はメールアドレス	

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

株服部商店

T E L 072-438-0173. 0511

F A X 072-422-8577

E-mail info@hattoriwood.co.jp

FAX 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7



購入申し込み用紙

下記に例を書きます。

E X ナラ 27 ミリが欲しいのですが具体的に明細と単価を御知らせ下さい。

会社名	
担当者名	
〒と連絡先ご住所	
お電話番号	
FAX 又はメールアドレス	

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

株服部商店

T E L 072-438-0173. 0511

F A X 072-422-8577

E-mail info@hattoriwood.co.jp